

## 令和6年度水防計画の変更総括表

項目	令和5年度	令和6年度	増減
1 重要水防箇所延長(河川) 重点区間	15,288m	14,033m	▲ 1,255 m
"    Aランク	42,491m	44,086m	1,595 m
"    Bランク	216,612m	216,791m	179 m
"    要注意区間	16,667m	21,768m	5,101 m
合計	291,058m	296,678m	5,620 m
2 水防上巡視を必要とする構造物	35箇所	35箇所	0 箇所
3 消防団員数	5,275人	5,188人	▲ 87 人

## 管理者別内訳

## 信濃川下流河川事務所管内

項目	令和5年度	令和6年度	増減
重要水防箇所延長(河川) 重点区間	5,102m	5,102m	0 m
"    Aランク	112m	112m	0 m
"    Bランク	43,449m	42,905m	▲ 544 m
"    要注意区間	11,072m	11,619m	547 m
合計	59,735m	59,738m	3 m
水防上巡視を必要とする構造物	7箇所	7箇所	－ 箇所

## ◆主な変更理由

- ・本川下流部右岸の築堤が実施され、ランクBで指定された箇所の延長が短くなるとともに、新堤3年(R5)としての要注意区間が長くなったため。

## 阿賀野川河川事務所管内

項目	令和5年度	令和6年度	増減
重要水防箇所延長(河川) 重点区間	7,336m	6,081m	▲ 1,255 m
"    Aランク	7,236m	5,981m	▲ 1,255 m
"    Bランク	18,685m	15,028m	▲ 3,657 m
"    要注意区間	5,295m	8,429m	3,134 m
合計	38,552m	35,519m	▲ 3,033 m
水防上巡視を必要とする構造物	5箇所	5箇所	0 箇所

## ◆主な変更理由

- ・これまでの対策工を評価したため。
- ・最新の基準、現地地形等に基づき安全性を再評価したため。

## 新潟県管理河川

項目	令和5年度	令和6年度	増減
重要水防箇所延長(河川) 重点区間	2,850m	2,850m	0 m
"    Aランク	35,143m	37,993m	2,850 m
"    Bランク	154,478m	158,858m	4,380 m
"    要注意区間	300m	1,720m	1,420 m
合計	192,771m	201,421m	8,650 m
水防上巡視を必要とする構造物	23箇所	23箇所	0 箇所

## ◆主な変更理由

- ・令和6年能登半島地震に伴い、堤防等の災害復旧事業実施により要注意区間が増加したため。
- ・重点区間延長(2,850m)として把握していたA区間延長を加算していなかったため。
- ・河川整備計画の策定に伴い、小阿賀野川を追加したため。